

その① “わかりやすい図書館”  
のために…



旧館と比べ、広さも収蔵能力もぐんとアップした岩手県立図書館。しかし、この広さと書棚の多さに、利用者の方も戸惑われることが多い様子。そこで目的の本に辿り着くための手引きとなる様々な工夫をしています。50音順に並んだキーワードで引ける棚案内のパンフレット「ご案内 index」や、児童向けの利用案内、請求票の見方や現在位置がわかるよう棚ごとに配架図を設置する…等々。利用者の皆さんにわかりやすい図書館を目指して、日々意見を出し合い、模索しています。

※「ご案内 index」は HP でもダウンロード可能です。また、市町村ログイン内には、修正して使用できるタイプを掲載していますのでどうぞご利用ください。

その② スタッフによる書評大会



夏休みに向けてスタッフ全員（総勢 60 名）による書評大会を行いました。当館所蔵であればジャンルは不問とし、書店でみかけるとような POP 風用の紙に、スタッフ一人一人が手書きで自分のお勧め図書の手書き書評を書き、館内に掲示したり、配布用リストを作成しました。書評を通じて県立図書館所蔵の図書の PR になりましたし、スタッフが全員参加で取り組む行事として、良い機会にもなりました。今後も読書週間などにあわせた恒例行事にしていこうと思っています。



このコーナーでは、岩手県立図書館で行っているさまざまな取り組みを紹介します。

その③ 岩手県立図書館に  
謎の河童現る！？



芸達者が多い県立図書館のスタッフの中でも、絵がとっても上手な S さん。彼女の描く河童があまりにもステキだったので、以前から新着郷土図書コーナーやカウンターにお人形が飾られていたのですが、今夏から県立図書館のキャラクターとして、夏休み限定のブックカバーや郷土資料寄贈依頼のポスターなど、いろいろな場面で登場してもらっています（©マークも付けてしっかり著作権を主張）。ただし、まだ名無し（スタッフの間でのあだ名は「イワオ」）。利用者の方に名前を募集しようか目下検討中です。これからの彼の活躍に乞うご期待！

その④ 外に飛び出して  
積極的に図書館を PR



図書館の行事や利用方法、図書資料についてもっと知ってもらうために、報道機関への働きかけ、HP・メールマガジンでの積極的な PR、イベントカレンダーや各種行事のチラシ・ポスターを作成するなど活発な広報活動を行っています。最近では、スタッフのアイデアで電子資料の紹介チラシを作成し図書館外のイベント会場で配布したり、アイーナ 4 階の甲子園放映会場に当館所蔵の甲子園関連図書の紹介チラシを置くなど、図書館を飛び出での PR 活動に力を入れています。

その⑤ マナーアップ

キャンペーン実施！



図書資料の切り取り・落書き、館内での飲食や携帯電話の利用など図書館が抱えているマナーに関する様々な問題。このことを利用者を知っていただき、考えていただくためにマナーアップキャンペーンと称して、汚損・破損資料の展示や、スタッフが考えたマナー川柳の掲示を行いました。日頃から声かけなどを行い、周知に努めています。こういったキャンペーンを行うことで、図書館を気持ちよく利用していただくために、利用者の皆さんの協力が不可欠であることを感じ取ってほしいと思います。